

東北地方 1か月予報

(3月21日から4月20日までの天候見通し)

平成21年3月20日
仙台管区気象台発表

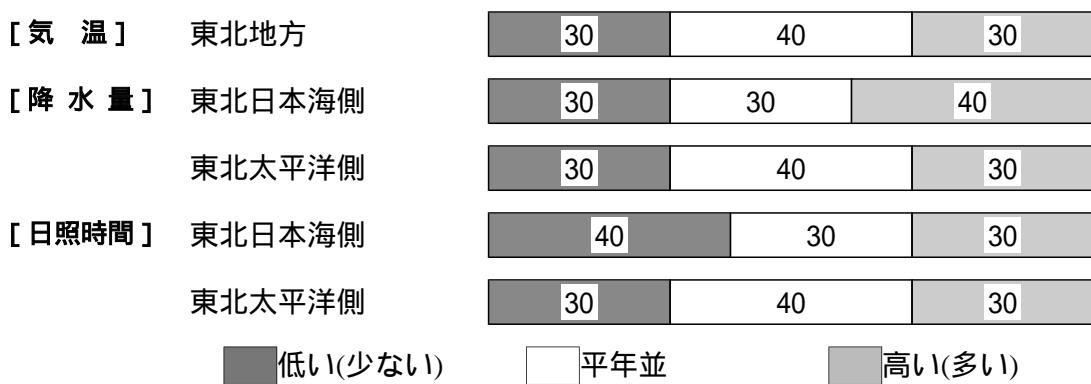
<特に注意を要する事項>

期間の前半は気温の変動が大きく、1週目中頃から2週目前半にかけて、気温が低くなる見込みです。農作物の管理等に注意して下さい。

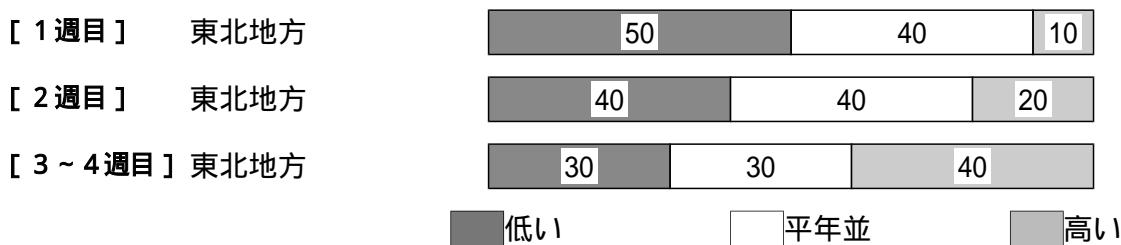
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年に比べて晴れの日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
週別の気温は、1週目は低い確率が50%、2週目は平年並または低い確率が40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

- 1か月 : 3月21日(土) ~ 4月20日(月)
1週目 : 3月21日(土) ~ 3月27日(金)
2週目 : 3月28日(土) ~ 4月3日(金)
3~4週目 : 4月4日(土) ~ 4月17日(金)

<次回発表予定等>

- 1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月27日
3か月予報：3月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	5.7	64.9	179.2	3.1	4.6	7.0
深浦	6.2	94.4	165.5	3.7	5.2	7.4
むつ	5.1	80.9	185.8	2.5	4.1	6.2
八戸	6.1	56.9	191.0	3.4	5.0	7.3
秋田	7.0	112.9	170.9	4.4	5.9	8.3
盛岡	5.9	94.1	173.6	3.0	4.7	7.3
大船渡	6.9	129.9	174.8	4.4	5.9	8.0
宮古	6.5	98.6	190.5	4.0	5.6	7.7
仙台	8.0	93.2	189.7	5.5	6.9	9.1
石巻	7.1	88.7	193.5	4.7	6.2	8.3
山形	7.2	68.9	169.8	4.2	5.9	8.6
新庄	5.6	108.0	142.6	2.9	4.3	6.9
酒田	7.7	107.1	163.2	5.3	6.6	8.9
福島	8.8	84.6	187.1	5.9	7.5	10.1
若松	7.2	69.2	164.1	4.2	5.9	8.6
白河	7.4	99.4	184.4	4.6	6.2	8.7
小名浜	9.2	131.1	185.9	7.0	8.3	10.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.4	85 ~ 112	96 ~ 105
東北日本海側	-0.3 ~ +0.4	87 ~ 108	95 ~ 105
東北太平洋側	-0.2 ~ +0.4	80 ~ 115	96 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6	-0.4 ~ +0.4
東北日本海側	-0.5 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6	-0.3 ~ +0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年3月20日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月21日~4月20日) :

天気は数日の周期で変わりますが、期間の前半は低気圧の通過後に一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年に比べて晴れの日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

期間の前半は気温の変動が大きく、1週目中頃から2週目前半にかけて、気温が低くなる見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(3月21日~3月27日) :

東北日本海側では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多いですが、期間のはじめは晴れる日があるでしょう。東北太平洋側では、気圧の谷の影響で期間のはじめと中頃は曇りや雨または雪の日がありますが、その他の日は沿岸部を中心に晴れるところが多い見込みです。

なお、22日から23日頃にかけて、発達する低気圧の影響で荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は低い確率が50%です。

2週目(3月28日~4月3日) :

天気は数日の周期で変わりますが、低気圧の通過後に一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年に比べて晴れの日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または低い確率とともに40%です。

3~4週目(4月4日~4月17日) :

天気は数日の周期で変わらでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

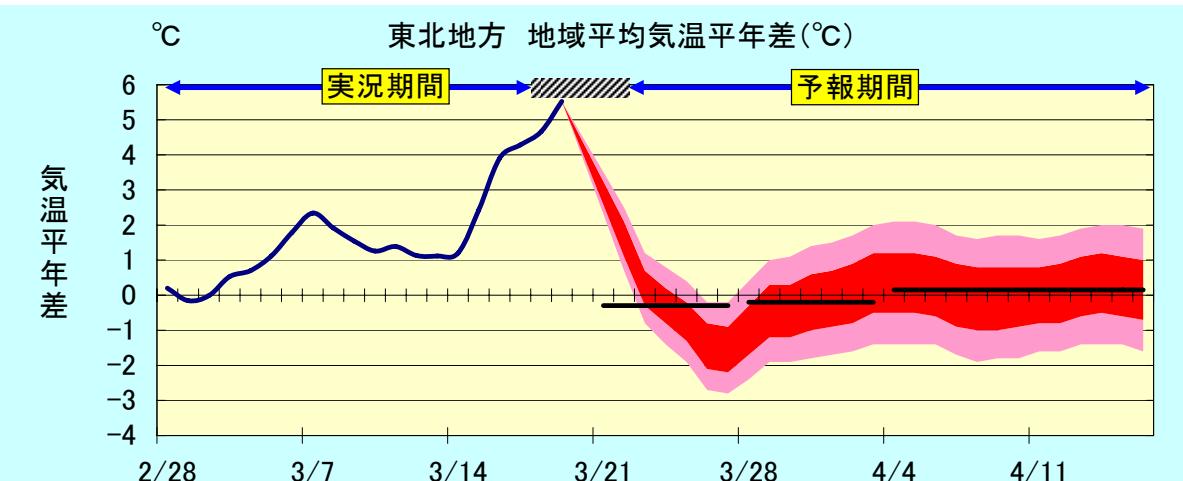
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.5日	3.4日	3.6日	7.5日
東北太平洋側	17.0日	4.4日	4.2日	8.4日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の平均気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに平年付近の予想となっている。予報は他の資料から1週目、2週目を低めに考える。

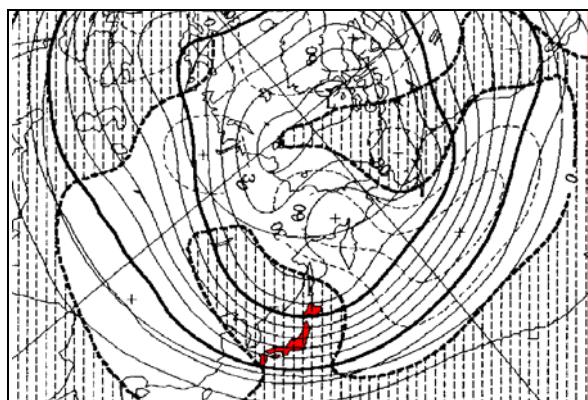


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 北太平洋から東シベリアにかけて正偏差が強い。一方、バイカル湖付近から日本の南海上にかけては負偏差。一時寒気の影響を受ける見込みだが、850hPa 気温予想図（図略）では東北地方の偏差は小さい。

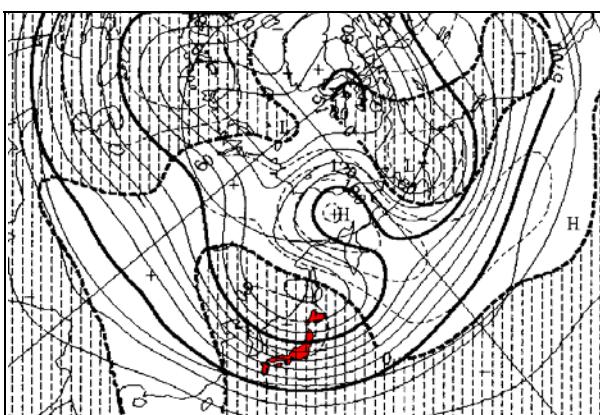
1週目: サハリン付近に寒冷渦があり、その南側を気圧の谷が短い周期で通過する見込み。地上予想天気図（図略）では千島近海に低気圧があり、冬型の気圧配置となっており、寒気の影響を受けやすい。

2週目: 極東域はバイカル湖付近から日本の東海上にかけて負偏差、そのほかは正偏差。日本付近はやや東谷傾向で、一時寒気の影響を受ける見込み。

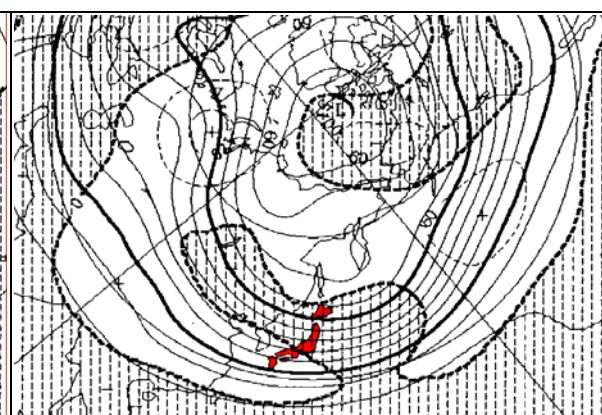


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

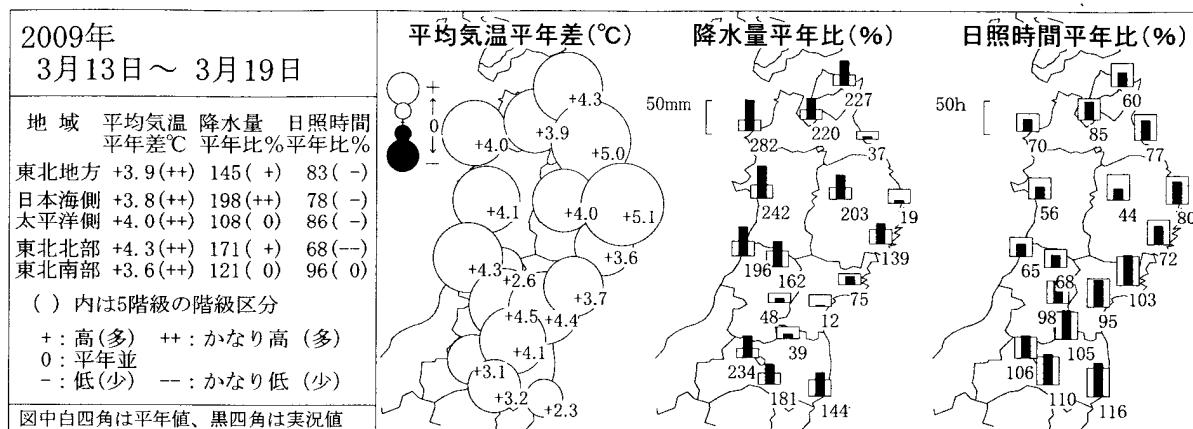
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（3月13日～3月19日）の天候の経過

この期間、前線や低気圧が短い周期で通過し、東北日本海側を中心に曇りや雨または雪の日が多くなったが、期間の終わりは東北南部では日本の南海上の高気圧におおわれて晴れた。なお、期間の後半は日本の南海上の高気圧や日本の北の低気圧の影響で南からの暖かい空気が入り、気温が高くなかった。特に19日は気温が上がり、日最高気温が3月としての極値を更新したところもあった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）